



生涯にわたって安心して健康で暮らせるまち
～みんなで創る 健都ふくしま～

全ての市民が健康寿命を延伸し、地域で生涯にわたって安心して健康で暮らせるまち「健都（健康都市）ふくしま」の実現を目指し、市民、民間、行政等総ぐるみの健康づくりを推進しましょう。



健康寿命の延伸

基本理念の実現に向けて、一人ひとりが健康でその人らしい生活を送ることができるよう、健康寿命の延伸を基本目標とし、健康なまちづくりを推進していきます。

全体目標

健康寿命としてお達者度の延伸の目標の他、取り組みの達成度を評価する指標として、全体目標を設定します。

1 お達者度（65歳健康寿命）の延伸

目標項目		R3 現状値	目標値 (令和11年度)
一般	男性	18.46年 (R1)	19.75年 (R7)
	女性	21.24年 (R1)	22.09年 (R7)

📄 R元年福島県市町村別「お達者度」

2 健康だと思う人の増加（「非常に健康だと思う」、「まあ健康な方だと思う」）

目標項目		R3 現状値	目標値 (令和11年度)
一般	男性	78.3%	80%以上
	女性	82.3%	84%以上

📄 R3年度福島市民の健康と生活習慣調査

3 健康を維持するために心がけていることがある人の増加

目標項目		R3 現状値	目標値 (令和11年度)
一般	男性	69.5%	75%以上
	女性	76.6%	79%以上

📄 R3年度福島市民の健康と生活習慣調査

🔍 **健康寿命**・・・健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。

🔍 **お達者度**・・・65歳における健康寿命により、市民の健康状況の改善をはかる指標。厚生労働省科学研究班による「健康寿命の算定プログラム」を用いて人口・死亡数・要介護認定者数（要介護度2未満）を使用して福島県が独自に3年ごとに算定している数値。



市民、民間、行政等総ぐるみの健康なまちづくりの推進

1 一人ひとりの健康に関する生活習慣づくり

健康増進のための基本的な要素となる栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣の改善を含めた健康づくりを推進します。

2 生活習慣病の発症予防と重症化予防

がん、肥満・メタボリックシンドローム、脳・心血管系疾患、糖尿病、慢性閉塞性肺疾患（COPD）を予防するため、食生活の改善や運動習慣の定着のほか、早期発見、合併症発症予防や重症化予防に重点を置いた対策を推進します。

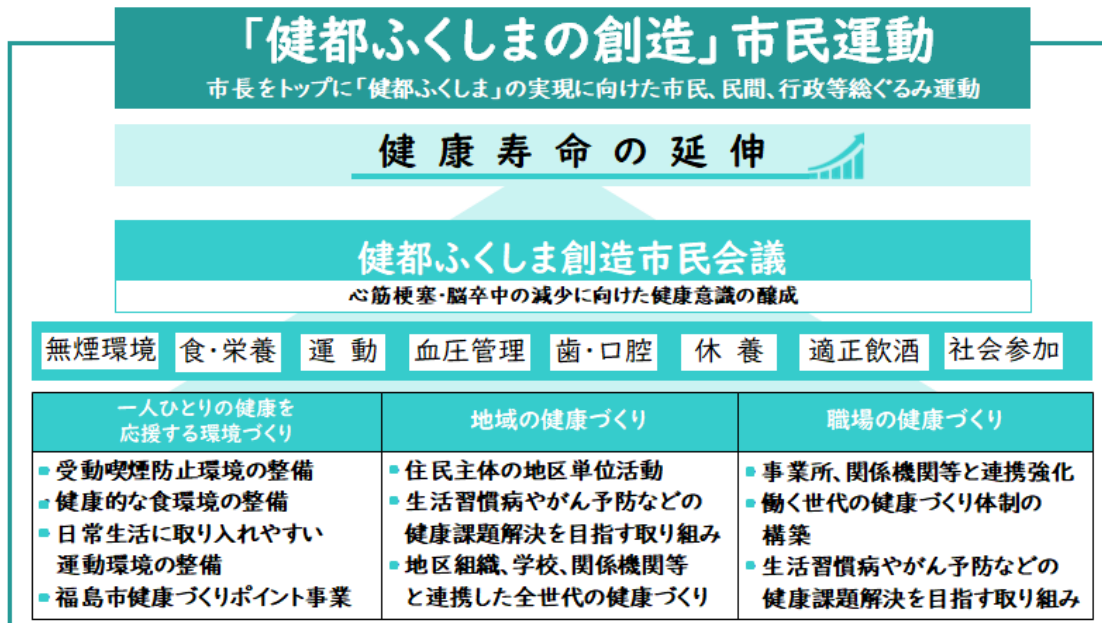
3 健康を支え、守るための社会環境づくり

市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むためには、社会全体として総合的に支援していく必要があります。個人はもとより、家庭、学校、職場、地域、医療機関、行政などがそれぞれの役割を担いながら地域社会全体で健康づくりへの支援体制を構築することを推進します。

第4節 基本方針を推進するための推進方策



健康寿命を延伸し、全ての市民が地域で健やかに暮らす「健都ふくしま」の実現を目指し「一人ひとりの健康を応援する環境づくり」「地域の健康づくり」「職場の健康づくり」の3つの柱により具体的な取組体制を整備していきます。



市民を中心に、民間（施設、民間団体、事業者等）、行政、三位一体による推進体制で取り組んでいきます。

健康づくりの推進にあたっては、これまで継続してきた様々な取り組みに加えて、デジタル社会に対応した ICT 技術の活用や大学等の高等教育研究機関との連携、山岳信仰に由来する「健脚文化」を健康なまちづくりにつなげる新たな取り組みにもチャレンジします。



※信夫山の羽黒神社に奉納される大わらじは、より一層の「健脚」を祈願する意味が込められています。

第5節 計画の体系



基本方針を進めるための具体的な内容として、6つの取組分野を設けました。

【基本理念】	【基本目標】	【基本方針】	【取組分野】
<p>生涯にわたって安心して健康で暮らせるまちをみんなで創る 健都ふくしま</p>	<p>健康寿命の延伸</p>	<p>市民、民間、行政等総ぐるみの健康なまちづくりの推進</p> <p>1 一人ひとりの健康に関する生活習慣づくり</p> <p>2 生活習慣病の発症予防と重症化予防</p> <p>3 健康を支え、守るための社会環境づくり</p>	<p>1 生活習慣の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養・食生活 身体活動・運動 休養・こころの健康 歯と口腔の健康 たばこ・アルコール <p>2 健康管理・疾病予防</p> <ul style="list-style-type: none"> がん 肥満・メタボリックシンドローム 脳・心血管系疾患 糖尿病 慢性閉塞性肺疾患（COPD） 感染症 <p>3 社会環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域づくり 環境づくり <p>4 生涯を通じた健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 親と子の健康 高齢者の健康 <p>5 放射線に関する健康管理</p> <p>6 ヘルスリテラシーの向上</p>

ヘルスリテラシー…健康や医療の情報を入手し、理解して活用する力のこと。健康や医療の情報発信する側がわかりやすく正確に伝えることも求められる。

第1節 取組分野と目標および取り組みの内容

I 生活習慣の改善

I 栄養・食生活

現状と課題

一日3食食べる人、緑黄色野菜を毎日食べる人の割合は減少し食習慣が悪化しています。おおむね青年期、壮年期の男性が悪化傾向にあります。

甘味飲料を毎日飲む人の割合は一般、学童思春期ともに減少し改善していますが、幼児期において増加しています。甘い食べ物を毎日食べる割合が増加している年代が多く、肥満の割合も増加していることから、乳幼児期からの健康的な食習慣の形成に向けた取り組みが必要です。

健康づくり目標

1	バランスのとれた食習慣を身につけ、楽しく食事をしましょう
2	乳幼児期から基本的な食習慣を身につけましょう

取り組み

1	栄養・食生活に関する正しい知識の普及
2	保育施設等、学校、地域、職場での食育活動の推進

主な事業

適しおを通した減塩の取り組みの推進、乳幼児健診等における栄養相談、保育施設等における食育（菜園活動、調理活動等）、学校における食に関する指導、各種健康づくり教室、学習センター主催による健康料理教室 等

🔍 適しお …適切な量の塩分でおいしく食べることが減塩につながるという福島市がつくった言葉。

目標値

目標項目			R3現状値	目標値 (令和11年度)
1.肥満(BMI25以上)の人の減少	特定健診受診者 (40~74歳)	男性	33.6%	25%以下
		女性	25.0%	20%以下
			R3年度国保特定健診	
2.一日3食食べる人の増加 (「ほとんど毎日」)	小学5・6年生		91.8%	100%
	青年期 (20~39歳)	男性	57.9%	70%以上
		女性	71.4%	80%以上
			R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	

目標項目			R3現状値	目標値 (令和11年度)
3.毎日朝食を食べる人の増加 (「ほとんど毎日」)	20歳代	男性	57.0%	69%以上
			<small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	
4.牛乳・乳製品を毎日摂る人の増加 (「ほとんど毎日」)	青年期 (20～39歳)	男性	35.0%	50%以上
		女性	41.6%	55%以上
			<small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	
5.緑黄色野菜を毎日食べる人の増加 (「ほとんど毎日」)	一般	男性	39.5%	52%以上
		女性	53.8%	65%以上
			<small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	
6.甘味飲料を毎日飲む人の減少 (「ほとんど毎日」)	学童思春期 (小・中・高)	男性	38.7%	30%以下
		女性	26.0%	25%以下
			<small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	
	一般	男性	34.2%	30%以下
女性		24.8%	20%以下	
			<small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	
7.主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる人の増加 (「ほぼ毎日」)	一般	男性	49.2%	56%以上
		女性	52.4%	59%以上
			<small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	
8.塩分の取りすぎに気を付けている人の増加	一般	男性	64.1%	75%以上
		女性	74.3%	80%以上
			<small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	
9.毎日家族と一緒に食事をする子どもの増加 (「ほとんど毎日」)	小学1～4年生	男性	96.7%	100%
		女性	96.3%	100%
			<small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	
	小学5・6年生	男性	82.4%	100%
女性		87.1%	100%	
			<small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	

2 身体活動・運動

現状と課題

健康維持のために運動をしている人の割合は減少していますが、体育の授業以外で運動する小学生、高校生の割合は増加しています。

健全な発育・発達や健康増進、生活習慣病の予防のためにも、日々の生活の中で積極的に歩くなど体を動かすことを意識し、また、自分に合った運動習慣を身につけるための取り組みが必要です。

健康づくり目標

1	健康づくりのために運動が大切なことを知りましょう
2	毎日の生活の中で意識的に体を動かしましょう（健脚文化）
3	楽しく継続でき、自分に合った運動習慣を身につけましょう

取り組み

1	身体活動・運動に関する知識の普及
2	市民の身体活動・運動に関する活動の支援



主な事業

福島市健康づくりポイント事業、各種健康づくりのための運動教室（ストレッチ、ラジオ体操、健康体操等）、ふくしまシティハーフマラソン等各種スポーツイベント 等



目標値

目標項目			R3現状値	目標値 (令和11年度)
1.健康を維持するために運動をしている人の増加 (全数のうち、健康を維持するための心がけとして「運動」をあげた人)	一般	男性	44.7%	50%以上
		女性	42.8%	45%以上
			R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	
2.運動習慣のある人の増加 (ほとんど毎日、週2～4回かつ1日の運動時間が30分以上)	一般	男性	35.2%	40%以上
		女性	29.4%	35%以上
			R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	
3. 体育以外で運動する子どもの増加 (週2回以上)	小学5・6年生	男性	66.6%	70%以上
		女性	62.9%	70%以上
			R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	



3 休養・こころの健康



現状と課題

睡眠による休養を十分に取れていない人の割合は、青年期では減少していますが、壮年期では増加しています。また、ストレスを解消できない人の割合が中学生から高齢期までの世代で増加しています。

こころの健康を保つ知識やストレスの対処法の普及、自殺対策として、自殺に関する正しい理解と知識の普及、自殺対策を支える人材の育成、地域におけるネットワークの強化等取り組むことが必要です。



健康づくり目標

1	生活習慣を見直し、睡眠や休養などの生活リズムを整えましょう
2	自分に合った方法でストレスを上手に解消しましょう
3	家庭・職場・地域で自殺予防に取り組みましょう



取り組み

1	こころの健康を保つための知識の普及
2	家庭、職場、地域での自殺予防の啓発



主な事業

こころの健康相談、各種健康づくり教室、ゲートキーパー養成講座、自殺対策強化月間等における啓発キャンペーン、自殺対策ネットワーク会議の開催 等



目標値

目標項目			R3現状値	目標値 (令和11年度)
1.睡眠で休養がとれている者の増加 (「十分とれている」「ほぼとれている」)	学童思春期 (中・高)	男性	73.2%	80%以上
		女性	69.1%	75%以上
	青年期 (20~39歳)	男性	75.7%	80%以上
		女性	74.0%	80%以上
	壮年期 (40~64歳)	男性	70.9%	75%以上
		女性	68.7%	75%以上
			R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	
2.ストレスを解消できない人の減少 (ストレスをとて感じる人のうち、ストレスを 「あまり解消できていない」「全く解消できてい ない」)	学童思春期 (中・高)	男性	78.7%	70%以下
		女性	80.0%	64%以下
	青年期 (20~39歳)	男性	80.3%	65%以下
		女性	81.4%	56%以下
	壮年期 (40~64歳)	男性	83.2%	63%以下
		女性	82.0%	57%以下
			R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	
3.自殺者の減少 (人口10万対)			16.46	12.53 (R10)
			R4年度 厚生労働省地域における自殺の基礎資料	



4 歯と口腔の健康



現状と課題

むし歯のない子どもは増加しているものの、全国平均に比べ低い傾向にあります。80歳で20本の歯を残す8020を達成している人の割合は増加していますが、60歳で24本の歯を残す6024を達成している人の割合は減少しています。

また、1日3回以上の歯みがきをしている人は増加しましたが、甘い物を毎日食べる割合は幼児期から中学生まで増加し、幼児期においては甘味飲料を毎日飲む習慣がある割合も増加しています。

今後も乳幼児期から歯と口腔の健康を守る習慣を身につけるため、福島市歯と口腔の健康づくり推進条例に基づく取り組みが必要です。



健康づくり目標

1	乳幼児期からむし歯になりにくい生活習慣を身につけましょう
2	むし歯予防、歯周病予防で「8020」を目指しましょう



取り組み

1	各世代に応じた歯の健康に関する知識の普及
2	むし歯予防や歯周病予防のための生活習慣改善への支援
3	子どものむし歯予防のためのフッ化物の利用
4	かかりつけ歯科医での定期的な検診受診の勧奨



主な事業

乳幼児健診、保育施設・学校等における歯科保健指導事業、働き盛りの健康講座、学習センター主催による健康づくり教室、フッ化物洗口事業、歯周病検診、高齢者口腔機能低下予防事業 等



目標値

目標項目		R3現状値	目標値 (令和11年度)	
1.むし歯のない子どもの増加	3歳児	83.4% <small>R3年度乳幼児健康診査</small>	95%以上	
	6歳児	63.0%	85%以上	
	12歳児	59.7% <small>R3年度市学校保健統計調査</small>	72%以上	
2.甘い物を毎日食べる習慣がある子どもの減少 (「ほとんど毎日」)	1歳6か月児	51.3%	30%以下	
	3歳児	72.9% <small>R3年度乳幼児健康診査</small>	45%以下	
	小学1～4年生	55.3% <small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	35%以下	
3. 甘味飲料を毎日飲む子どもの減少 (「ほとんど毎日」飲む)	1歳6か月児	35.0%	20%以下	
	3歳児	44.8% <small>R3年度乳幼児健康診査</small>	22%以下	
	小学5・6年生	35.3% <small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	30%以下	
4.80歳で20歯以上の自分の歯がある人の増加	75～84歳	男性	45.3%	53%以上
		女性	42.6% <small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	44%以上
5.60歳で24歯以上の自分の歯がある人の増加	55～64歳	男性	56.7%	70%以上
		女性	68.1% <small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	90%以上
6.一日3回以上歯みがきをしている人の増加	小学5・6年生	60.2%	66%以上	
	青年期(20～39歳)	30.1%	40%以上	
	壮年期(40～64歳)	35.7% <small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	43%以上	
7.かかりつけ歯科医のいる子どもの増加	3歳児	54.1% <small>R3年度乳幼児健康審査</small>	64%以上	
8.かかりつけ歯科医をもち、定期的に受診している人の増加	一般	—	次回調査で把握	
9.フッ化物洗口に取り組む施設の増加 (保育所・幼稚園・小学校)	保育所・幼稚園・小学校の割合	保育所・幼稚園等 46.9% 小学校 57.8% <small>R5年度実施施設</small>	保育所・幼稚園等 60%以上 小学校 60%以上	

5 たばこ・アルコール

現状と課題

喫煙率は男女ともに少しずつ減少傾向にありますが、目標値に達していません。

一般の受動喫煙の場所は、路上、家庭、職場が多く、学童思春期は家庭、路上、屋外の空間で多くみられています。今後も関係機関との連携により禁煙支援や福島市受動喫煙防止条例に基づいた受動喫煙防止の取り組みを強化していくことが必要です。

多量飲酒者の割合は男女ともに横ばいですが、毎日飲酒する人の割合は、男性が減少している一方で女性が増加しています。適正な飲酒の啓発が必要です。

健康づくり目標

1	たばこが健康に及ぼす影響を理解し、たばこによる健康被害を防ぎましょう
2	家庭・学校・職場・地域で20歳未満の者、妊産婦にたばこを勧めない、吸わせない環境をつくりましょう
3	家庭・学校・職場・地域で受動喫煙防止に努めましょう
4	アルコールが健康に及ぼす影響を理解し、適正な飲酒を心がけましょう
5	家庭・学校・職場・地域で20歳未満の者、妊産婦に飲酒を勧めない、飲ませない環境をつくりましょう

取り組み

1	喫煙・受動喫煙や多量飲酒の害に関する知識の普及
2	20歳未満の者や妊産婦の喫煙・飲酒防止対策
3	禁煙の取り組み支援
4	受動喫煙防止対策

主な事業

健診事後の保健指導や健康相談、妊娠届出時や乳幼児健診での啓発、禁煙週間におけるPR活動、防煙教室、禁煙外来及び禁煙サポーターのいる薬局の周知及び連携、受動喫煙防止対策ガイドラインの周知、受動喫煙防止重点区域の設定と受動喫煙防止指導員の巡回指導、空気のきれいな施設・車両認証制度事業、アルコール問題に関する公開講座 等



目標値

目標項目			R3現状値	目標値 (令和11年度)	
1. 喫煙者の減少	一般 (20歳以上)	男性	24.4%	20%以下	
		女性	6.6%	5%以下	
			R3年度福島市民の健康と生活習慣調査		
2. 喫煙する20歳未満の者をなくす (「吸ったことがある」)	学童思春期 (小・中・高)	男性	1.6%	0%	
		女性	1.5%	0%	
			R3年度福島市民の健康と生活習慣調査		
3. 喫煙する妊婦をなくす	妊婦		1.9%	0%	
			R3年度福島市妊婦健康診査妊娠前期		
4. たばこの影響があると思われる病気を 知っている人の増加	肺がん	一般	89.7%	100%	
		学童思春期(中・高)	90.1%	100%	
	ぜんそく	一般	63.5%	100%	
		学童思春期(中・高)	70.0%	100%	
	気管支炎	一般	65.1%	100%	
		学童思春期(中・高)	83.8%	100%	
	心臓病	一般	41.9%	100%	
		学童思春期(中・高)	56.7%	100%	
	脳卒中	一般	48.5%	100%	
		学童思春期(中・高)	54.1%	100%	
	胃潰瘍	一般	19.5%	100%	
		学童思春期(中・高)	33.8%	100%	
	歯周病	一般	31.8%	100%	
		学童思春期(中・高)	44.6%	100%	
	妊娠に関連した異常	一般	48.5%	100%	
		学童思春期(中・高)	59.2%	100%	
			R3年度福島市民の健康と生活習慣調査		
5. 受動喫煙の機会を有する人の割合の減少	一般	行政機関	0.3%	0%	
		職場	7.5%	0%	
		家庭	8.4%	7%以下	
		飲食店 路上	2.6% 10.4%	2%以下 5%以下	
				R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	
	学童思春期 (小・中・高)	家庭	13.6%	7%以下	
		路上	12.8%	5%以下	
		屋外の空間 (公園・グラ ウンド等)	5.9%	5%以下	
		飲食店	2.8%	2%以下	
				R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	
6. 多量飲酒者の減少 (お酒を飲む人のうち、日本酒換算一日平均「約 3合以上」)	一般 (20歳以上)	男性	5.6%	5%以下	
		女性	2.3%	1%以下	
			R3年度福島市民の健康と生活習慣調査		
7. 毎日お酒を飲む人の減少 (全数のうち、「お酒を飲む」かつ「ほとんど毎 日」飲む)	一般 (20歳以上)	男性	32.2%	30%以下	
		女性	10.8%	5%以下	
			R3年度福島市民の健康と生活習慣調査		
8. お酒を飲む20歳未満の者をなくす (「飲んだことがある」)	学童思春期 (小・中・高)	男性	11.2%	0%	
		女性	7.2%	0%	
			R3年度福島市民の健康と生活習慣調査		
9. お酒を飲む妊婦をなくす	妊婦		1.9%	0%	
			R3年度福島市妊婦健康診査妊娠前期		

2 健康管理・疾病予防

1 がん

現状と課題

がん検診受診率、精密検査の受診率は横ばい、または増加傾向にありますが、まだ低い状況です。がんの発症を予防する生活習慣やがんの早期発見・早期治療のための啓発が必要です。

健康づくり目標

1	がんのリスクを抑える健康的な生活習慣を知り、日々の健康づくりに努めましょう
2	がんの早期発見・早期治療のために、がん検診を受診しましょう
3	精密検査に該当した場合は必ず受診しましょう

取り組み

1	がん予防のための生活習慣改善の支援
2	がんの予防、早期発見に関する普及啓発
3	がん検診の受診勧奨、精密検査該当者への受診勧奨

主な事業

がん検診事業、乳がん早期発見啓発事業、各種健康づくり教室 等

目標値

目標項目		R3現状値	目標値 (令和11年度)
1.がん検診を受診する人の増加			
胃がん	(50～69歳)	37.1%	50%以上
大腸がん	(40～69歳)	30.3%	50%以上
肺がん	(40～69歳)	30.4%	50%以上
子宮頸がん	(20～69歳)	38.1%	50%以上
乳がん	(40～69歳)	43.6%	50%以上
		R3年度市民検診	
2.がん検診の精密検査を受診する人の増加			
胃がん	(50～69歳)	94.3%	100%
大腸がん	(40～69歳)	74.6%	100%
肺がん	(40～69歳)	88.4%	100%
子宮頸がん	(20～69歳)	96.1%	100%
乳がん	(40～69歳)	93.4%	100%
		R2年度市民検診	
3.【再掲】喫煙者の減少			
一般 (20歳以上)	男性	24.4%	20%以下
	女性	6.6%	5%以下
		R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	

2 肥満・メタボリックシンドローム

現状と課題

特定健診、特定保健指導の実施率は増加していますが、目標値とは大きく乖離しています。また、肥満やメタボリックシンドローム該当者及び予備群が増加しています。

生活習慣病の発症や重症化を防ぐため、健康意識を高め、生活習慣を振り返り、改善・維持につながる取り組みが必要です。

健康づくり目標

1	毎年、特定健診を受診し、自分の健康状態を把握しましょう
2	食生活や運動などの生活習慣を改善し、肥満やメタボリックシンドロームを予防・改善しましょう

取り組み

1	肥満・メタボリックシンドロームが引き起こす健康リスクについての啓発
2	特定健診対象者や特定健診未受診者への受診勧奨
3	健診結果に応じた受診と生活習慣改善への支援

主な事業

特定健診、特定保健指導、健診事後指導、医師会・歯科医師会・薬剤師会等との生活習慣病重症化予防連携、糖尿病性腎症重症化予防事業、要医療未受診者への受診勧奨と保健指導、各種健康づくり教室 等

目標値

目標項目			R3現状値	目標値 (令和11年度)
1.【再掲】肥満(BMI25以上)の人の減少	特定健診受診者 (40~74歳)	男性	33.6%	25%以下
		女性	25.0%	20%以下
			R3年度国保特定健診	
2.メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	特定健診受診者 (40~74歳)	男性	52.0%	平成20年度と比べて 25%減少 男性 32%以下 女性 13%以下
		女性	19.3%	
			R3年度国保特定健診	
3.特定健診受診率の増加	特定健診受診者 (40~74歳)		41.0%	60%以上
			R3年度国保特定健診	
4.特定保健指導実施率の増加	特定健診受診者 (40~74歳)		12.0%	45%以上
			R3年度国保特定健診	
5.【再掲】運動習慣のある人の増加 (ほとんど毎日、週2~4回かつ1日の運動時間が30分以上)	一般	男性	35.2%	40%以上
		女性	29.4%	35%以上
			R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	

目標項目			R3現状値	目標値 (令和11年度)
6.【再掲】緑黄色野菜を毎日食べる人の増加 (「ほとんど毎日」)	一般	男性	39.5%	52%以上
		女性	53.8%	65%以上
			R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	
7.甘い物を毎日食べる習慣がある人の減少 (ほとんど「毎日」)	一般	男性	19.1%	17%以下
		女性	30.6%	28%以下
			R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	
8.【再掲】甘味飲料を毎日飲む人の減少 (「ほとんど毎日」)	学童思春期 (小・中・高)	男性	38.7%	30%以下
		女性	26.0%	25%以下
			R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	
	一般	男性	34.2%	30%以下
女性		24.8%	20%以下	
			R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	
9.【再掲】主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる日の増加 (「ほぼ毎日」)	一般	男性	49.2%	56%以上
		女性	52.4%	59%以上
			R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	

3 脳・心血管系疾患

現状と課題

脳・心血管系疾患の標準化死亡比は男女ともに改善しています。一方で、脳・心血管系疾患の発症・重症化と関連する高血圧や脂質異常症、肥満の指標は悪化傾向にあり、生活習慣病の発症、適正な医療管理等による重症化の予防が必要です。

また、夏冬の気温の影響や室内の寒暖の差による急激な温度変化等の健康への影響が指摘されるようになってきています。(ヒートショック、熱中症等)

健康づくり目標

1	脳・心血管系疾患の発症リスクである肥満、高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病の発症・悪化を防ぐため、食事や運動などの生活習慣の改善に努めましょう
2	脳・心血管系疾患の予防と早期発見のため定期的に健診を受け、受診を勧奨された場合は速やかに受診しましょう
3	生活習慣病の適正な管理に努めましょう
4	室内の気温や寒暖の差による急激な温度変化等が健康に与える影響を知り、心身に負担をかけない生活や環境づくりを意識しましょう

取り組み

1	脳・心血管系疾患と発症リスクである肥満、高血圧、糖尿病、脂質異常症等との関連についての啓発
2	特定健診対象者や特定健診未受診者への受診勧奨
3	発症予防、重症化予防のための受診と生活習慣改善への支援
4	室内の気温や寒暖の差による急激な温度変化等が健康に与える影響とそれらに配慮した住環境についての啓発



主な事業

特定健診、特定保健指導、健診事後指導、医師会・歯科医師会・薬剤師会等との生活習慣病重症化予防連携、糖尿病性腎症重症化予防事業、要医療未受診者への受診勧奨と保健指導、各種健康づくり教室、健康に配慮した住環境（省エネ住宅等）の周知・啓発 等



目標値

目標項目			R3現状値	目標値 (令和11年度)
1.脳血管疾患・虚血性心疾患の標準化死亡比(SMR)の減少	脳梗塞	男性	1.12	1.0
		女性	1.15	1.0
	急性心筋梗塞	男性	1.10	1.0
		女性	1.11	1.0
			<small>H29年～R3年 人口動態調査等により市で独自算出</small>	
2.【再掲】肥満(BMI25以上)の人の減少	特定健診受診者 (40～74歳)	男性	33.6%	25%以下
		女性	25.0%	20%以下
			<small>R3年度国保特定健診</small>	
3.【再掲】特定健診受診率の増加	特定健診受診者 (40～74歳)		41.0%	60%以上
			<small>R3年度国保特定健診</small>	
4.高血圧の改善 (収縮期血圧の平均値の低下)	特定健診受診者 (40～74歳)	男性	129mmHg	126mmHg
		女性	128mmHg	124mmHg
			<small>R3年度国保特定健診</small>	
5.脂質異常症(LDLコレステロール160以上)の減少	特定健診受診者 (40～74歳)	男性	8.2%	6%以下
		女性	13.8%	10%以下
			<small>R3年度国保特定健診</small>	
6.【再掲】メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	特定健診受診者 (40～74歳)	男性	52.0%	平成20年度と比べて 25%減少 男性 32%以下 女性 13%以下
		女性	19.3%	
			<small>R3年度国保特定健診</small>	
7.【再掲】喫煙者の減少	一般 (20歳以上)	男性	24.4%	20%以下
		女性	6.6%	5%以下
			<small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	



4

糖尿病



現状と課題

糖尿病の指標のひとつである、ヘモグロビンA1c高値の人の割合が増えています。

糖尿病は全身の血管に影響する疾患であり、脳・心血管系疾患のリスクともなります。

まずは、健康管理に努め、治療が必要と認められた際は早期に治療し、適正な管理を行うことが必要です。



ヘモグロビンA1c・・・ヘモグロビンにグルコースが結合した糖化ヘモグロビンのことであり、長期間（過去2か月）の平均の血糖値を反映する検査項目のこと。



健康づくり目標

1	食生活や運動、休養などの生活習慣を改善し、糖尿病の発症を防ぎましょう
2	健診を受診し、糖尿病の早期発見・早期治療に努めましょう
3	糖尿病と診断された場合は、適正な管理に努め、重症化を防ぎましょう



取り組み

1	糖尿病が引き起こす合併症についての啓発
2	特定健診対象者や特定健診未受診者への受診勧奨
3	重症化予防のための受診や生活習慣改善への支援



主な事業

特定健診、特定保健指導、健診事後指導、医師会・歯科医師会・薬剤師会等との生活習慣病重症化予防連携、糖尿病性腎症重症化予防事業、要医療未受診者への受診勧奨と保健指導、各種健康づくり教室 等



目標値

目標項目			R3現状値	目標値 (令和11年度)
1.ヘモグロビンA1cが6.5以上の人の減少	特定健診受診者 (40～74歳)	男性	13.8%	7%以下
		女性	8.1%	3%以下
			R3年度国保特定健診	
2.【再掲】肥満(BMI25以上)の人の減少	特定健診受診者 (40～74歳)	男性	33.6%	25%以下
		女性	25.0%	20%以下
			R3年度国保特定健診	
3.ヘモグロビンA1cが8.0以上の人の減少	特定健診受診者 (40～74歳)		1.2%	1%以下
			R3年度国保特定健診	
4.糖尿病合併症の減少 (新規人工透析に占める糖尿病患者の割合の減少)	福島市国保加入者		50.3%	47%以下
			R3年度KDB 「厚生労働省様式(様式2-2)」	



5 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)



現状と課題

COPDに関連する喫煙率は減少していますがCOPD罹患者は増加しています。
COPDの認知度を高め、禁煙支援・受動喫煙防止対策を推進することが必要です。



慢性閉塞性肺疾患 (COPD)・・・主として長期の喫煙によってもたらされる肺の炎症性疾患で、咳・痰・息切れを主訴として、緩徐に呼吸器障害が進行する疾患。



健康づくり目標

1	喫煙が慢性閉塞性肺疾患の主要原因であることを理解し、禁煙に努めましょう
---	-------------------------------------



取り組み

1	慢性閉塞性肺疾患に関する知識の普及
2	禁煙の取り組み支援
3	受動喫煙防止対策



主な事業

特定健診事後の保健指導や健康相談、禁煙希望者への個別支援、禁煙外来及び禁煙サポーターのいる薬局の周知及び連携、禁煙週間におけるPR活動等



目標値

目標項目		R3現状値	目標値 (令和11年度)
1. 慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者の減少	福島市国保加入者	外来レセプト件数1,400件 (被保険者千人あたり) R3年度 KDB「疾病別医療費分析(細小(82)分類)」	0.901件以下
2. 【再掲】喫煙者の減少	一般 (20歳以上)	男性 24.4% 女性 6.6%	20%以下 5%以下
		R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	



6 感染症



現状と課題

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は日常生活に大きな影響を及ぼしました。

感染予防対策の周知や情報収集・早期発見をはじめとした平時からの取り組みと、発生時において迅速・的確に対応するための体制づくりが必要です。



健康づくり目標

1	感染症や食中毒について正しく理解し、予防に向けた取り組みをしましょう
---	------------------------------------



取り組み

1	感染症や食中毒の発生防止と発生後の拡大防止のための普及啓発
2	平時からの感染症予防に関する正しい情報の発信



主な事業

感染症や食中毒予防に関する情報の発信と講座の実施、予防接種に関する情報の発信等



目標値

目標項目	R3現状値	目標値 (令和11年度)
1.予防接種を受ける子どもの増加		
4種混合(1期終了)	98.6%	95%以上
BCG	100.8%	95%以上
麻しん・風しん混合(1期終了)	96.2%	95%以上
	R3年度定期予防接種	



I 地域づくり



現状と課題

地域のつながりが希薄化する中、新型コロナウイルス感染症の拡大により市民の活動が制限され、社会活動や人とのつながりがさらに減少し、健康づくり活動も減少しました。

地域、職場、学校等において主体的な健康づくり活動を活発化し、つながりながら地域社会全体で取り組んでいくことが必要です。



健康づくり目標

1	健康に関する取り組みや学習、地域の行事に積極的に参加し、人とのつながりを深めながら、自分と地域の健康づくりに取り組みましょう
2	お互いに支え合い、助け合える地域・職場・学校・組織をつくりましょう



取り組み

1	住民主体の地区単位における健康づくりへの支援
2	働く世代の健康づくり体制の構築
3	子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり
4	民間、専門職能団体、庁内外関係機関との連携による健康づくりの推進



主な事業

地区健康課題に関する共有、健康づくり活動への支援、企業における健康経営の取り組み拡大に向けた支援、職域との連携による職場における健康講座、こんにちは赤ちゃん事業、健都ふくしま創造市民会議等開催による市民の健康課題の共有・取り組みの推進 等



目標値

目標項目		R3現状値	目標値 (令和11年度)
1.地域活動に参加している人の増加	青年期(20~39歳)	21.6%	45%以上
	壮年期(40~64歳)	34.7%	45%以上
	高齢期(65~84歳)	39.8%	45%以上
		R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	
2.居住地域でお互いに助け合っていると思う人の増加 (「強く思う」「どちらかといえばそう思う」)	一般 (20歳以上)	63.4%	66%以上
		R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	
3.この地域で今後も子育てをしていきたいと思う親の増加 (「そう思う」「どちらかといえばそう思う」)	3歳児	95.4%	96%以上
		R3年度乳幼児健康診査	

2 環境づくり

現状と課題

健都ふくしまの実現を目指し、一人ひとりの健康を応援する環境づくり、地域や職場での健康づくりを進めてきました。今後も、一人ひとりが健康的な生活習慣を身につけ、継続できるよう環境整備を進めていく必要があります。

健康づくり目標

市民、民間、行政等が協力し、自然と健康になれるような環境づくりをすすめます。

取り組み

1	受動喫煙防止環境の整備
2	健康的な食環境の整備
3	日常生活に取り入れやすい運動環境の整備
4	歯と口腔の健康のための環境整備
5	ICT活用による健康づくり環境の整備

主な事業

福島市受動喫煙防止条例、受動喫煙防止重点区域の設定と受動喫煙防止指導員の巡回指導、空気のきれいな施設・車両認証制度事業、適しおサポーター事業、健康づくりポイント事業、他部署や関係団体と連携した健脚文化の取り組み、フッ化物洗口事業 等

目標値

目標項目			R3現状値	目標値 (令和11年度)
1.【再掲】受動喫煙の機会を有する人の割合の減少	一般	行政機関	0.3%	0%
		職場	7.5%	0%
		家庭	8.4%	7%以下
		飲食店	2.6%	2%以下
		路上	10.4%	5%以下
	<small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>			
学童思春期 (小・中・高)	家庭	13.6%	7%以下	
	路上	12.8%	5%以下	
	屋外の空間 (公園・グラウンド等)	5.9%	5%以下	
	飲食店	2.8%	2%以下	
<small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>				
2.「適しお」を知っている人の増加	一般		—	次回調査で把握
3.【再掲】フッ化物洗口事業に取り組む施設の増加 (保育所・幼稚園・小学校)	保育所・幼稚園・小学校の割合		保育所・幼稚園等	保育所・幼稚園等
			46.9%	60%以上
		小学校	小学校	
		57.8%	60%以上	
<small>R5年度実施施設</small>				



I 親と子の健康



現状と課題

甘い食べ物をほとんど毎日食べる子どもの割合が増加し、幼児においては、甘い飲み物をほとんど毎日飲む割合も増加しています。肥満傾向にある小中学生も増加しており、健やかな生活習慣を乳幼児期から身につけることが必要です。

また、学校の授業以外でのテレビ、パソコン、スマホ・タブレット等のメディアの利用について、中高生で3時間以上利用する者の割合が増加しています。健康な生活習慣を崩さないよう適切な活用方法について啓発することが必要です。

子育てにおいては、育児をする父親は増加していますが、ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある親は減少しています。

安心して子どもを産み育てられるよう、また、子どもが健やかに育つよう、家庭や学校、職場、地域などが連携して、健康づくりや子育てしやすい環境づくりに取り組むことが必要です。



健康づくり目標

1	妊娠中から健康的な生活を送り、安全な妊娠・出産を迎えましょう
2	妊娠・出産・子育てについて正しい知識をもちましょう
3	相談窓口及び子育て支援サービスを活用し、安心して子育てをしましょう
4	家族で協力して子育てをしましょう
5	地域や職場で子育てを支援しましょう
6	乳幼児期からの健やかな生活習慣を身につけましょう
7	メディアを上手に活用しましょう



取り組み

1	妊娠・出産・育児に関する情報提供と正しい知識の普及
2	子どもの発育・発達と育児支援
3	孤立せずに安心して子育てができるような環境づくり
4	メディアの適切な活用についての啓発



主な事業

母子健康手帳の交付、伴走型相談支援事業、妊産婦健診、乳幼児健診、産前産後サポート事業、産後ケア事業、こんにちは赤ちゃん事業、育児相談会、親子教室、メディアコントロール（ノーメディアデイ）等の取り組み、保育施設・学校等における保健指導事業等



目標値

目標項目		R3現状値	目標値 (令和11年度)	
1.妊娠11週以内で妊娠届け出をする妊婦の増加	妊婦	95.3% R3年妊娠届出	95%以上	
2.低出生体重児(2,500g未満)の減少		7.6% R2年度福島県保健統計の概況	7.5%以下	
3.肥満傾向にある子どもの割合の減少 (中等度・高度肥満)	10歳児	14.1% R3年度市学校保健統計調査	9%以下	
4.【再掲】一日3食食べる人の増加 (「ほとんど毎日」)	小学5・6年生	91.8%	100%	
	青年期 (20～39歳)	男性	57.9%	70%以上
		女性	71.4%	80%以上
		R3年度福島市民の健康と生活習慣調査		
5.時間や回数を決めて間食をとる子どもの増加	1歳6か月児	90.1%	90%以上	
	3歳児	85.6% R3年度乳幼児健康診査	90%以上	
6.【再掲】甘い物を毎日食べる習慣がある子どもの減少 (「ほとんど毎日」)	1歳6か月児	51.3%	30%以下	
	3歳児	72.9% R3年度乳幼児健康診査	45%以下	
	小学1～4年生	55.3% R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	35%以下	
7.【再掲】甘味飲料を毎日飲む子どもの減少 (「ほとんど毎日」飲む)	1歳6か月児	35.0%	20%以下	
	3歳児	44.8% R3年度乳幼児健康診査	22%以下	
	小学5・6年生	35.3% R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	30%以下	
8.【再掲】体育以外で運動する子どもの増加(週2回以上)	小学5・6年生	男性	66.6%	70%以上
		女性	62.9% R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	70%以上
9.【再掲】むし歯のない子どもの増加	3歳児	83.4% R3年度乳幼児健康診査	95%以上	
	6歳児	63.0%	85%以上	
	12歳児	59.7% R3年度市学校保健統計調査	72%以上	
10.【再掲】一日3回以上歯みがきをしている人の増加	小学5・6年生	60.2%	66%以上	
	青年期(20～39歳)	30.1%	40%以上	
	壮年期(40～64歳)	35.7% R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	43%以上	
11.【再掲】かかりつけ歯科医のいる子どもの増加	3歳児	54.1% R3年度乳幼児健康診査	64%以上	
12.【再掲】フッ化物洗口事業に取り組む施設の増加 (保育所・幼稚園・小学校)	保育所・幼稚園・小学校	保育所・幼稚園等 46.9% 小学校 57.8% R5年度実施施設	保育所・幼稚園等 60%以上 小学校 60%以上	
13. ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある親の増加	4か月児	89.2%	95%以上	
	1歳6か月児	80.4%	87%以上	
	3歳児	73.5% R3年度乳幼児健康診査	90%以上	
14. 協力し合って家事や育児をしている家庭の増加	4か月児	—	次回調査で把握	

目標項目		R3現状値	目標値 (令和11年度)
15. 育てにくさを感じた時に相談先、解決方法を知っている親の増加	4か月児	83.3%	90%以上
	1歳6か月児	83.5%	90%以上
	3歳児	85.0%	90%以上
		R3年度乳幼児健康診査	
16.【再掲】この地域で今後も子育てをしていきたいと思う親の増加 (「そう思う」「どちらかといえばそう思う」)	3歳児	95.4%	96%以上
		R3年度乳幼児健康診査	
17.【再掲】喫煙する妊婦をなくす	妊婦	1.9%	0%
		R3年度福島市妊婦健康診査妊娠前期	
18. 父母が喫煙している家庭の減少	4か月児	31.3%	20%以下
		R3年度乳幼児健康診査	
19.【再掲】お酒を飲む妊婦をなくす	妊婦	1.9%	0%
		R3年度福島市妊婦健康診査妊娠前期	
20. かかりつけ小児科医を持つ親の増加	1歳6か月児	98.2%	100%
		R3年度乳幼児健康診査	
21. 事故防止を実施している家庭の増加	1歳6か月児	93.2%	100%
	3歳児	87.1%	100%
		R3年度乳幼児健康診査	
22. 10代の性感染症の減少	学童思春期	[参考値] 福島県 性器クラミジア感染症:54件 淋菌感染症:8件 尖圭コンジローマ:9件 性器ヘルペス:5件 R3年感染症発生動向調査	減少傾向へ
23. 10代の人工妊娠中絶の減少	学童思春期	[参考値] 福島県3.0 R3年福島県保健統計	減少傾向へ

2 高齢者の健康

現状と課題

要介護認定者数、要介護認定率は増加傾向にあり、約5人に1人が要介護認定を受けている現状があります。

高齢になっても生活の質を維持し生きがいをもって生活するためには、生活習慣病の重症化を防ぐとともに、介護予防・フレイル予防に取り組むことが必要です。

健康づくり目標

1	個々の状況に合わせた健康的な生活習慣を実践しましょう
2	生きがいをもち、積極的に社会参加をしましょう



取り組み

1	高齢期の健康的な生活習慣とフレイル予防に関する知識の普及
2	いきいきももりん体操（福島市版介護予防体操）を中心とした住民主体の通いの場の強化
3	社会参加のための情報提供
4	認知症予防の推進



主な事業

いきいきももりん体操を活用した介護予防事業、後期高齢者健診、健診事後指導、各種健康づくり教室、認知症普及啓発事業 等



目標値

目標項目			R3現状値	目標値 (令和11年度)
1.【再掲】80歳で20歯以上の自分の歯がある人の増加	75～84歳	男性	45.3%	53%以上
		女性	42.6%	44%以上
			R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	
2. フレイルを認知している人の増加 (「言葉も内容も知っている」「言葉は知っている」)	一般		29.0%	60%以上
			R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	
3. 低栄養高齢者(BMI20以下)の減少	高齢期(65～84歳)		18.5%	16%以下
			R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	
4. 地域活動をしている高齢者の増加	高齢期(65～84歳)		39.8%	45%以上
			R3年度福島市民の健康と生活習慣調査	



現状と課題

震災から10年以上経った現在も、放射線の影響に関して不安を感じている人がいます。不安を払しょくするための取り組みを継続していく必要があります。



健康づくり目標

1	放射線について正しく理解しましょう
2	生活習慣を整え、健やかなところとからだをつくりましょう



取り組み

1	放射線と健康への不安払しょくに関する支援 (福島市総合計画、福島市健康管理実施計画との連携)
---	---



主な事業

内・外部被ばく検査、放射線に関する健康講座 等



現状と課題

たくさんの健康情報があふれる中、健康を維持増進させるためには、自分のからだや健康に関する様々なリスクについて考え、健康や医療の情報を入手し、理解して活用する力、ヘルスリテラシーを向上させることが必要です。

平成23年に発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故や令和2年以降、新型コロナウイルス感染症拡大の際には、様々な健康情報があふれ混乱の時期を経験しました。

健康への危機事象が発生した際にはもちろんのこと、日頃から健康情報を活用する力を高めていくことができるよう、市民、行政、専門職等がコミュニケーションを図りながら、ヘルスリテラシーを向上させる取り組みが必要です。また、健康や医療の情報を発信する側がわかりやすく正確に伝えることも求められています。



健康づくり目標

1	自分のからだや健康に関する様々なリスクに関心を持ちましょう
2	根拠に基づいた信頼できる情報を選択しましょう
3	情報を理解し、判断して行動しましょう



取り組み

1	日常生活の中で、健康や医療に関する根拠に基づいたわかりやすい情報に触れ、考えることができるような情報発信
2	ヘルスリテラシーの理解と活用に向けた支援
3	地域の中で、必要な情報や知識について伝え合い、学び合い、実践し合うための活動への支援



主な事業

市政だより等多様な手段を活用した情報発信、新聞・雑誌・テレビ等マスメディアの活用、健康や医療に関する各種教室、食生活改善推進員等ボランティアの養成や活動支援、地区組織・関係団体との連携による普及啓発 等



目標値

目標項目		R3現状値	目標値 (令和11年度)
1. 市が発信する健康や医療の情報を活用している人の増加	一般	—	次回調査で把握
2. 病気や健康に関連した情報を自分自身で探し、その情報を理解し、評価して健康改善のための計画や行動を決めることができると思う人の増加	一般	—	次回調査で把握

区分	目標項目			R3現状値	目標値 (令和11年度)	参考(国第三次)			
						目標項目・指標	現状(最新値)	目標	
全体目標	1.お達者度(65歳健康寿命)の延伸	一般	男性 女性	18.46年 21.24年 <small>R元年福島県市町村別「お達者度」</small>	19.75年 22.09年 <small>(R7)</small>				
	2.健康だと思う人の増加 (「非常に健康だと思う」「まあ健康な方だと思う」)	一般	男性 女性	78.3% 82.3% <small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	80%以上 84%以上				
	3.健康を維持するために心がけていることがある人の増加	一般	男性 女性	69.5% 76.6% <small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	75%以上 79%以上				
1 生活習慣の改善	(1) 栄養・食生活	1.肥満(BMI25以上)の人の減少	特定健診受診者 (40~74歳)	男性 女性	33.6% 25.0% <small>R3年度国保特定健診</small>	25%以下 20%以下			
		2.一日3食食べる人の増加 (「ほとんど毎日」)	小学5・6年生			91.8%	100%		
			青年期 (20~39歳)	男性 女性		57.9% 71.4% <small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	70%以上 80%以上		
		3.毎日朝食を食べる人の増加 (「ほとんど毎日」)	20歳代	男性	57.0% <small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	69%以上			
		4.牛乳・乳製品を毎日摂る人の増加 (「ほとんど毎日」)	青年期 (20~39歳)	男性	35.0%	50%以上			
				女性	41.6% <small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	55%以上			
		5.緑黄色野菜を毎日食べる人の増加 (「ほとんど毎日」)	一般	男性 女性	39.5% 53.8% <small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	52%以上 65%以上			
		6.甘味飲料を毎日飲む人の減少 (「ほとんど毎日」)	学童思春期 (小・中・高)	男性	38.7%	30%以下			
				女性	26.0% <small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	25%以下			
			一般	男性	34.2%	30%以下			
				女性	24.8% <small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	20%以下			
		7.主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる人の増加 (「ほぼ毎日」)	一般	男性 女性	49.2% 52.4% <small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	56%以上 59%以上	バランスの良い食事を 摂っている者の増加 (主食・主菜・副菜を組 み合わせた食事が1日 2回以上の日かほぼ毎 日の者の割合)	37.7% (R3年度 食育に関する 意識調査)	50% (R14年度)
		8.塩分の取りすぎに気を付けている人の増加	一般	男性	64.1%	75%以上			
				女性	74.3% <small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	80%以上			
		9.毎日家族と一緒に食事をする子どもの増加 (「ほとんど毎日」)	小学1~4年生	男性	96.7%	100%			
女性	96.3% <small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>			100%					
	小学5・6年生	男性	82.4%	100%					
		女性	87.1% <small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	100%					
(2) 身体活動・運動	1.健康を維持するために運動をしている人の増加 (全数のうち、健康を維持するための心がけとして「運動」をあげた人)	一般	男性	44.7%	50%以上				
			女性	42.8% <small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	45%以上				
		2.運動習慣のある人の増加 (ほとんど毎日、週2~4回かつ1日の運動時間が30分以上)	一般	男性 女性	35.2% 29.4% <small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	40%以上 35%以上	運動習慣者の増加 (1回30分以上の運動を 週2回以上実施し、 1年以上継続している 者の割合)	28.7% (R元年度) 20~64歳 男性:23.5% 女性:16.9% 65歳以上 男性:41.9% 女性:33.9%	40% (R14年度) 20~64歳 男性:30% 女性:30% 65歳以上 男性:50% 女性:50%
3.体育以外で運動する子どもの増加 (週2回以上)	小学5・6年生	男性	66.6%	70%以上					
		女性	62.9% <small>R3年度福島市民の健康と生活習慣調査</small>	70%以上					

区分	目標項目			R3現状値	目標値 (令和11年度)	参考(国第三次)		
						目標項目・指標	現状(最新値)	目標
1 生活習慣の改善	1.睡眠で休養がとれている者の増加 (「十分とれている」「ほぼとれている」)	学童思春期 (中・高)	男性	73.2%	80%以上	睡眠で休養がとれている者の増加	78.3% (H30年度)	80% (R14年度)
			女性	69.1%	75%以上			
		青年期 (20~39歳)	男性	75.7%	80%以上			
			女性	74.0%	80%以上			
		壮年期 (40~64歳)	男性	70.9%	75%以上			
			女性	68.7%	75%以上			
	R3年度福島市民の健康と生活習慣調査							
	2.ストレスを解消できない人の減少 (ストレスをととも感じる人のうち、ストレスを「あまり解消できていない」「全く解消できていない」)	学童思春期 (中・高)	男性	78.7%	70%以下			
			女性	80.0%	64%以下			
		青年期 (20~39歳)	男性	80.3%	65%以下			
女性			81.4%	56%以下				
壮年期 (40~64歳)		男性	83.2%	63%以下				
		女性	82.0%	57%以下				
R3年度福島市民の健康と生活習慣調査								
3.自殺者の減少 (人口10万対)				16.46	12.53			
				R4年度 厚生労働省地域における自殺の基礎資料	(R10)			
(4) 歯と口腔の健康	1.むし歯のない子どもの増加	3歳児		83.4%	95%以上	歯科口腔保健の推進に関する基本的事項(第2次):3歳でう蝕のない者の割合	88.2% (R2年)	95% (R14年)
		6歳児		63.0%	85%以上			
		12歳児		59.7%	72%以上			
	R3年度乳幼児健康診査							
	2.甘い物を毎日食べる習慣がある子どもの減少 (「ほとんど毎日」)	1歳6か月児		51.3%	30%以下	歯科口腔保健の推進に関する基本的事項(第2次):12歳でう蝕のない者の割合	70.6% (R2年)	95% (R14年)
		3歳児		72.9%	45%以下			
		小学1~4年生		55.3%	35%以下			
	R3年度乳幼児健康診査							
	3. 甘味飲料を毎日飲む子どもの減少 (「ほとんど毎日」)	1歳6か月児		35.0%	20%以下	R3年度福島市民の健康と生活習慣調査		
		3歳児		44.8%	22%以下			
		小学5・6年生		35.3%	30%以下			
	R3年度福島市民の健康と生活習慣調査							
	4.80歳で20歯以上の自分の歯がある人の増加	75~84歳	男性	45.3%	53%以上	歯科口腔保健の推進に関する基本的事項(第2次):80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合	51.2% (H28年)	85% (R14年)
			女性	42.6%	44%以上			
R3年度福島市民の健康と生活習慣調査								
5.60歳で24歯以上の自分の歯がある人の増加	55~64歳	男性	56.7%	70%以上	歯科口腔保健の推進に関する基本的事項(第2次):60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合	74.4% (H28年)	95% (R14年)	
		女性	68.1%	90%以上				
R3年度福島市民の健康と生活習慣調査								
6.一日3回以上歯みがきをしている人の増加	小学5・6年生		60.2%	66%以上	R3年度福島市民の健康と生活習慣調査			
	青年期(20~39歳)		30.1%	40%以上				
	壮年期(40~64歳)		35.7%	43%以上				
R3年度福島市民の健康と生活習慣調査								
7.かかりつけ歯科医のいる子どもの増加	3歳児		54.1%	64%以上	成育医療等基本方針に基づく評価指標:かかりつけ歯科医を持つことでの割合	3歳児:52.7% (R3年度)	55.0% (R6年度)	
	一般		—	次回調査で把握				
R3年度乳幼児健康審査								
8.かかりつけ歯科医をもち、定期的を受診している人の増加	一般		—	次回調査で把握	歯科検診受診者の増加(過去1年間に歯科検診を受診した者の割合)	52.9% (H28年度)	95% (R14年度)	
	保育所・幼稚園・小学校の割合		保育所・幼稚園等 46.9% 小学校 57.8%	保育所・幼稚園等 60%以上 小学校 60%以上				
R5年度実施施設								
9.フッ化物洗口に取り組む施設の増加 (保育所・幼稚園・小学校)	保育所・幼稚園・小学校の割合		保育所・幼稚園等 46.9% 小学校 57.8%	保育所・幼稚園等 60%以上 小学校 60%以上	歯科口腔保健の推進に関する基本的事項(第2次):学齢期におけるフッ化物洗口に採る事業を実施している市町村の割合	—	60% (R14年度)	

区分	目標項目	R3現状値		目標値 (令和11年度)	参考(国第三次)		
					目標項目・指標	現状(最新値)	目標
1 生活習慣の改善 (5) たばこ・アルコール	1. 喫煙者の減少	一般 (20歳以上)	男性 女性	24.4% 6.6%	20%以下 5%以下	喫煙率の減少(喫煙をやめたい者がやめる) 16.7% (R元年度)	12% (R14年)
	2. 喫煙する20歳未満の者をなくす (「吸ったことがある」)	学童思春期 (小・中・高)	男性 女性	1.6% 1.5%	0% 0%	20歳未満の者の喫煙をなくす 0.6% (R3年度)	0% (R14年度)
	3. 喫煙する妊婦をなくす	妊婦		1.9%	0%	妊娠中の妊婦の喫煙をなくす 1.9% (R3年度)	第2次成育医療等基本方針に併せて設定
	4. たばこの影響があると思われる病気を知っている人の増加						
		肺がん	一般	89.7%	100%		
			学童思春期(中・高)	90.1%	100%		
		ぜんそく	一般	63.5%	100%		
			学童思春期(中・高)	70.0%	100%		
		気管支炎	一般	65.1%	100%		
			学童思春期(中・高)	83.8%	100%		
		心臓病	一般	41.9%	100%		
			学童思春期(中・高)	56.7%	100%		
		脳卒中	一般	48.5%	100%		
			学童思春期(中・高)	54.1%	100%		
		胃潰瘍	一般	19.5%	100%		
			学童思春期(中・高)	33.8%	100%		
		歯周病	一般	31.8%	100%		
			学童思春期(中・高)	44.6%	100%		
		妊娠に関連した異常	一般	48.5%	100%		
		学童思春期(中・高)	59.2%	100%			
	5. 受動喫煙の機会を有する人の割合の減少	一般	行政機関 職場 家庭 飲食店 路上	0.3% 7.5% 8.4% 2.6% 10.4%	0% 0% 7%以下 2%以下 5%以下	望まない受動喫煙の機会を有する者の減少 望まない受動喫煙の機会を有する者の減少 家庭:6.9% 職場:26.1% 飲食店:29.6% (R元年度)	望まない受動喫煙のない社会の実現 (R14年度)
		学童思春期 (小・中・高)	家庭 路上 屋外の空間 (公園・グラウンド等) 飲食店	13.6% 12.8% 5.9% 2.8%	7%以下 5%以下 5%以下 2%以下		
	6. 多量飲酒者の減少 (お酒を飲む人のうち、日本酒換算一日平均「約3合以上」)	一般 (20歳以上)	男性 女性	5.6% 2.3%	5%以下 1%以下	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の減少 11.8% (R元年度) 男性14.9% 女性9.1%	10% (R14年度)
	7. 毎日お酒を飲む人の減少 (全数のうち、「お酒を飲む」かつ「ほとんど毎日」飲む)	一般 (20歳以上)	男性 女性	32.2% 10.8%	30%以下 5%以下		
	8. お酒を飲む20歳未満の者をなくす (「飲んだことがある」)	学童思春期 (小・中・高)	男性 女性	11.2% 7.2%	0% 0%	20歳未満の者の飲酒をなくす 2.2% (R3年度)	0% (R14年度)
	9. お酒を飲む妊婦をなくす	妊婦		1.9%	0%	健やか親子21(第二次):妊娠中の妊婦の飲酒率 0.8% (R2年度)	0% (R6年度)
2 健康管理・疾病予防 (1) がん	1.がん検診を受診する人の増加					がん検診の受診率の向上	
		胃がん	(50~69歳)	37.1%	50%以上	胃がん 男性 48.0% 女性 37.1%	60% (R10年度)
		大腸がん	(40~69歳)	30.3%	50%以上	肺がん 男性 53.4% 女性 45.6%	
		肺がん	(40~69歳)	30.4%	50%以上	大腸がん 男性47.8% 女性40.9%	
		子宮頸がん	(20~69歳)	38.1%	50%以上	子宮頸がん 43.7% 乳がん 47.4% (R元年度)	
		乳がん	(40~69歳)	43.6%	50%以上		

区分	目標項目		R3現状値	目標値 (令和11年度)	参考(国第三次)			
					目標項目・指標	現状(最新値)	目標	
2 健康 管理・ 疾病 予防	(1) がん	2.がん検診の精密検査を受診する人の増加						
		胃がん (50~69歳)	94.3%	100%				
大腸がん (40~69歳)		74.6%	100%					
肺がん (40~69歳)		88.4%	100%					
子宮頸がん (20~69歳)		96.1%	100%					
乳がん (40~69歳)		93.4%	100%					
		R2年度市民検診						
		3.【再掲】喫煙者の減少	一般 (20歳以上)	男性 24.4% 女性 6.6%	20%以下 5%以下	喫煙率の減少(喫煙をやめたい者がやめる)	16.7% (R元年度)	12% (R14年)
	(2) 肥満・ メタボ リック シン ドロ ーム	1.【再掲】肥満(BMI25以上)の人の減少	特定健診受診者 (40~74歳)	男性 33.6% 女性 25.0%	25%以下 20%以下			
		2.メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	特定健診受診者 (40~74歳)	男性 52.0% 女性 19.3%	平成20年度と比べて 25%減少 男性 32%以下 女性 13%以下			
		3.特定健診受診率の増加	特定健診受診者 (40~74歳)	41.0%	60%以上	特定健康診査の実施率の向上	56.5% (R3年度)	第4期医療費適正化計画に合わせ設定
		4.特定保健指導実施率の増加	特定健診受診者 (40~74歳)	12.0%	45%以上	特定保健指導の実施率の向上	24.6% (R3年度)	第4期医療費適正化計画に合わせ設定
		5.【再掲】運動習慣のある人の増加(ほとんど毎日、週2~4回かつ1日の運動時間が30分以上)	一般	男性 35.2% 女性 29.4%	40%以上 35%以上	運動習慣者の増加(1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している者の割合)	28.7% (R元年度) 20~64歳 男性:23.5% 女性:16.9% 65歳以上 男性:41.9% 女性:33.9%	40% (R14年度) 20~64歳 男性:30% 女性:30% 65歳以上 男性:50% 女性:50%
		6.【再掲】緑黄色野菜を毎日食べる人の増加(「ほとんど毎日」)	一般	男性 39.5% 女性 53.8%	52%以上 65%以上			
		7.甘い物を毎日食べる習慣がある人の減少(「ほとんど毎日」)	一般	男性 19.1% 女性 30.6%	17%以下 28%以下			
		8.【再掲】甘味飲料を毎日飲む人の減少(「ほとんど毎日」)	学童思春期 (小・中・高)	男性 38.7% 女性 26.0%	30%以下 25%以下			
			一般	男性 34.2% 女性 24.8%	30%以下 20%以下			
		9.【再掲】主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる日の増加(「ほぼ毎日」)	一般	男性 49.2% 女性 52.4%	56%以上 59%以上	バランスの良い食事を摂っている者の増加(主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合)	37.7% (R3年度 食育に関する意識調査)	50% (R14年度)
	(3) 脳・ 心 血 管 系 疾 患	1.脳血管疾患・虚血性心疾患の標準化死亡比(SMR)の減少	脳梗塞 急性心筋梗塞	男性 1.12 女性 1.15 男性 1.10 女性 1.11	1.0 1.0 1.0 1.0			
			H29年~R3年 人口動態調査等により独自算出					
		2.【再掲】肥満(BMI25以上)の人の減少	特定健診受診者 (40~74歳)	男性 33.6% 女性 25.0%	25%以下 20%以下			
			R3年度国保特定健診					
		3.【再掲】特定健診受診率の増加	特定健診受診者 (40~74歳)	41.0%	60%以上	特定健康診査の実施率の向上	56.5% (R3年度)	第4期医療費適正化計画に合わせ設定
		4.高血圧の改善(収縮期血圧の平均値の低下)	特定健診受診者 (40~74歳)	男性 129mmHg 女性 128mmHg	126mmHg 124mmHg	高血圧の改善(収縮期血圧の平均値)	131.1mmHg ※ 男性 133.9mmHg 女性 129.0mmHg (R元年度)	ベースライン値から5mmHgの低下 (R14年度)
		5.脂質異常症(LDLコレステロール160以上)の減少	特定健診受診者 (40~74歳)	男性 8.2% 女性 13.8%	6%以下 10%以下	脂質高値の者の減少(LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合)	11.0% ※男性9.1% 女性12.3% (R元年度)	ベースライン値から25%の減少 (R14年度)
	6.【再掲】メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	特定健診受診者 (40~74歳)	男性 52.0% 女性 19.3%	平成20年度と比べて 25%減少 男性 32%以下 女性 13%以下				
		R3年度国保特定健診						
	7.【再掲】喫煙者の減少	一般 (20歳以上)	男性 24.4% 女性 6.6%	20%以下 5%以下	喫煙率の減少(喫煙をやめたい者がやめる)	16.7% (R元年度)	12% (R14年)	
		R3年度福島市民の健康と生活習慣調査						

区分	目標項目			R3現状値	目標値 (令和11年度)	参考(国第三次)						
						目標項目・指標	現状(最新値)	目標				
2 健康管理・疾病予防	(4) 糖尿病	1.ヘモグロビンA1cが6.5以上の人の減少		特定健診受診者 (40～74歳)	男性 女性	13.8% 8.1%	7%以下 3%以下					
		2.【再掲】肥満(BMI25以上)の人の減少		特定健診受診者 (40～74歳)	男性 女性	33.6% 25.0%	25%以下 20%以下					
		3.ヘモグロビンA1cが8.0以上の人の減少		特定健診受診者 (40～74歳)			1.2%	1%以下	血糖コントロール不良者の減少 (HbA1c8.0%以上の者の割合)	1.32% (R元年度)	1.0% (R14年度)	
		4.糖尿病合併症の減少 (新規人工透析に占める糖尿病罹患者の割合の減少)		福島市国保加入者			50.3%	47%以下	糖尿病の合併症(糖尿病性腎症)の減少	15,271人 (R3年度)	12,000人(約7%減) (R14年度)	
	(5) COPD	1.慢性閉塞性肺疾患(COPD)患者の減少		福島市国保加入者			0.901件以下					
		2.【再掲】喫煙者の減少		一般 (20歳以上)	男性 女性	24.4% 6.6%	20%以下 5%以下	喫煙率の減少(喫煙をやめたい者がやめる)	16.7% (R元年度)	12% (R14年)		
	(6) 感染症	1.予防接種を受ける子どもの増加					98.6%	95%以上				
		4種混合(1期終了) BCG					100.8%	95%以上				
		麻疹・風しん混合(1期終了)					96.2%	95%以上				
	3 社会環境づくり	(1) 地域づくり	1.地域活動に参加している人の増加		青年期(20～39歳) 壮年期(40～64歳) 高齢期(65～84歳)		21.6% 34.7% 39.8%	45%以上 45%以上 45%以上				
			2.居住地域でお互いに助け合っていると思う人の増加 (「強くそう思う」「どちらかといえばそう思う」)		一般 (20歳以上)			63.4%	66%以上	地域の人々とのつながりが強いと思う者の増加	40.2% (R元年度)	45% (R14年度)
			3.この地域で今後も子育てをしていきたいと思う親の増加 (「そう思う」「どちらかといえばそう思う」)		3歳児			95.4%	96%以上	成育医療等基本方針に基づく評価指標:この地域で子育てをしたいと思う親の割合	95.3% (R3年度)	現状維持
(2) 環境づくり		1.【再掲】受動喫煙の機会を有する人の割合の減少		一般	行政機関 職場 家庭 飲食店 路上		0.3% 7.5% 8.4% 2.6% 10.4%	0% 0% 7%以下 2%以下 5%以下	望まない受動喫煙の機会を有する者の減少	家庭:6.9% 職場:26.1% 飲食店:29.6% (R元年度)	望まない受動喫煙のない社会の実現 (R14年度)	
				学童思春期 (小・中・高)	家庭 路上 屋外の空間 (公園・グラウンド等) 飲食店		13.6% 12.8% 5.9% 2.8%	7%以下 5%以下 5%以下 2%以下				
		2.「適しお」を知っている人の増加		一般			—	次回調査で把握				
		3.【再掲】フッ化物洗口事業に取り組む施設の増加 (保育所・幼稚園・小学校)		保育所・幼稚園・小学校の割合			保育所・幼稚園等 46.9% 小学校 57.8%	保育所・幼稚園等 60%以上 小学校 60%以上	歯科口腔保健の推進に関する基本的事項(第2次):年齢期におけるフッ化物洗口に際する事業を実施している市町村の割合	—	60% (R14年度)	
							R5年度実施施設					
							R3年度福島市民の健康と生活習慣調査					
4 生涯を通じた健康づくり		(1) 親と子の健康	1.妊娠11週以内で妊娠届け出をする妊婦の増加		妊婦		95.3%	95%以上	成育医療等基本方針に基づく評価指標:妊娠11週以内での妊娠の届出率	94.8% (R3年度)	増加 (R6年度)	
			2.低出生体重児(2,500g未満)の減少				7.6%	7.5%以下	成育医療等基本方針に基づく評価指標:全出生数中の低出生体重児の割合	9.4% (R3年度)	減少 (R6年度)	
			3.肥満傾向にある子どもの割合の減少 (中等度・高度肥満)		10歳児			14.1%	9%以下	成育医療等基本方針に基づく評価指標:児童・生徒における肥満傾向児の減少	10歳 10.96% 男子12.58% 女子9.26% (R3年度)	第2次成育医療等基本方針に併せて設定
	4.【再掲】一日3食食べる人の増加 (「ほとんど毎日」)		小学5・6年生			91.8%	100%					
		青年期 (20～39歳)	男性 女性		57.9% 71.4%	70%以上 80%以上						
					R3年度福島市民の健康と生活習慣調査							

区分	目標項目		R3現状値	目標値 (令和11年度)	参考(国第三次)			
					目標項目・指標	現状(最新値)	目標	
4 生涯を通じた健康づくり (1) 親と子の健康	5. 時間や回数を決めて間食をとる子どもの増加	1歳6か月児	90.1%	90%以上				
		3歳児	85.6%	90%以上				
	6. 【再掲】甘い物を毎日食べる習慣がある子どもの減少 (「ほとんど毎日」)	1歳6か月児	51.3%	30%以下				
		3歳児	72.9%	45%以下				
	7. 【再掲】甘味飲料を毎日飲む子どもの減少 (「ほとんど毎日」)	1歳6か月児	35.0%	20%以下				
		3歳児	44.8%	22%以下				
	8. 【再掲】体育以外で運動する子どもの増加(週2回以上)	小学5・6年生	男性	66.6%	70%以上			
			女性	62.9%	70%以上			
	9. 【再掲】むし歯のない子どもの増加	3歳児		83.4%	95%以上	歯科口腔保健の推進に関する基本的事項(第2次):3歳でう蝕のない者の割合	88.2%(R2年)	95%(R14年)
			6歳児	63.0%	85%以上			
			12歳児	59.7%	72%以上	歯科口腔保健の推進に関する基本的事項(第2次):12歳でう蝕のない者の割合	70.6%(R2年)	95%(R14年)
	10. 【再掲】一日3回以上歯みがきをしている人の増加	小学5・6年生	青年期(20~39歳)	60.2%	66%以上			
			壮年期(40~64歳)	30.1%	40%以上			
				35.7%	43%以上			
	11. 【再掲】かかりつけ歯科医のいる子どもの増加	3歳児	54.1%	64%以上	成育医療等基本方針に基づく評価指標:かかりつけ歯科医を持つ子どもの割合	3歳児:52.7%(R3年度)	55.0%(R6年度)	
	12. 【再掲】フッ化物洗口事業に取り組む施設の増加 (保育所・幼稚園・小学校)	保育所・幼稚園・小学校	保育所・幼稚園等 46.9% 小学校 57.8%	保育所・幼稚園等 60%以上 小学校 60%以上	歯科口腔保健の推進に関する基本的事項(第2次):学齢期におけるフッ化物洗口に協賛する事業を実施している市町村の割合	—	60%(R14年度)	
	13. ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある親の増加	4か月児	89.2%	95%以上	成育医療等基本方針に基づく評価指標:ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある保護者の割合	3-4か月児:89.3% 1歳6か月児:81.0% 3歳児:75.7%(R3年度)	3-4か月児:92% 1歳6か月児:85% 3歳児:75%(R6年度)	
		1歳6か月児	80.4%	87%以上				
		3歳児	73.5%	90%以上				
	14. 協力し合って家事や育児をしている家庭の増加	4か月児	—	次回調査で把握				
	15. 育てにくさを感じた時に相談先、解決方法を知っている親の増加	4か月児	83.3%	90%以上	成育医療等基本方針に基づく評価指標:育てにくさを感じた時に対処できる親の割合	80.9%(R3年度)	90%(R6年度)	
		1歳6か月児	83.5%	90%以上				
		3歳児	85.0%	90%以上				
16. 【再掲】この地域で今後も子育てをしたいと思う親の増加 (「そう思う」「どちらかといえばそう思う」)	3歳児	95.4%	96%以上	成育医療等基本方針に基づく評価指標:この地域で子育てをしたいと思う親の割合	95.3%(R3年度)	現状維持		
17. 【再掲】喫煙する妊婦をなくす	妊婦	1.9%	0%	妊娠中の妊婦の喫煙をなくす	1.9%(R3年度)	第2次成育医療等基本方針に併せて設定		
18. 父母が喫煙している家庭の減少	4か月児	31.3%	20%以下	健やか親子21(第二次):育児期間中の両親の喫煙率の減少	父親:33.1% 母親:5.6%(R2年度)	父親:20% 母親:4%(R6年度)		
19. 【再掲】お酒を飲む妊婦をなくす	妊婦	1.9%	0%	健やか親子21(第二次):妊娠中の妊婦の飲酒率	0.8%(R2年度)	0%(R6年度)		
20. かかりつけ小児科医を持つ親の増加	1歳6か月児	98.2%	100%	成育医療等基本方針に基づく評価指標:かかりつけ医をもっていることとの割合	3-4か月児:79.9% 3歳児:89.6%(R3年度)	3-4か月児:85% 3歳児:95%(R6年度)		
21. 事故防止を実施している家庭の増加	1歳6か月児	93.2%	100%					
	3歳児	87.1%	100%					
22. 10代の性感染症の減少	学童思春期	【参考値】 福島県 性器クラミジア感染症:54件 淋菌感染症:8件 尖圭コンジローマ:9件 性器ヘルペス:5件	減少傾向へ					
23. 10代の人工妊娠中絶の減少	学童思春期	【参考値】 福島県3.0	減少傾向へ	成育医療等基本方針に基づく評価指標:10代の人口妊娠中絶率	3.3(R3年度)	減少(R6年度)		

区分	目標項目		R3現状値	目標値 (令和11年度)	参考(国第三次)		
					目標項目・指標	現状(最新値)	目標
4 生涯を通じた健康づくり (2)高齢者の健康	1.【再掲】80歳で20歯以上の自分の歯がある人の増加	75～84歳	男性 45.3% 女性 42.6%	53%以上 44%以上	歯科口腔保健の推進に関する基本的事項(第2次):80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合	51.2% (H28年)	85% (R14年)
		一般	29.0%	60%以上			
	3.低栄養高齢者(BMI20以下)の減少	高齢期(65～84歳)	18.5%	16%以下	低栄養傾向の高齢者の減少(BMI20以下)	16.8% (R元年度)	13% (R14年度)
	4.地域活動をしている高齢者の増加	高齢期(65～84歳)	39.8%	45%以上	社会活動を行っている高齢者の増加	新規集計予定のためデータなし	ベースライン値から10%の増加(R14年度)
6 シニアの向上	1.市が発信する健康や医療の情報を活用している人の増加	一般	—	次回調査で把握			
	2.病気や健康に関連した情報を自分自身で探し、その情報を理解し、評価して健康改善のための計画や行動を決めることができると思う人の増加	一般	—	次回調査で把握			

